

Pyrosogaps japonica 小なる海蝓にて盛に光を放つ

其他佳藻十數種ありたり

其採集に余の兄中久木及び牧野良平君の余に種々便宜を
與へられしを謝す

翌日牧野君に導れて水産學校を一覽す特筆すべきは偉大
なるカンギエイの尾なり長さ四尺もありてチョーザメの
如き鱗散點す乾して軸を入れ杖にする者ありと(や、つ)

●通信

過月鹿兒島造士館へ赴任せられたる池田作次郎君の近信
に左の二三項を記せり

當地は京地と異りひき(Bufo)が兩三日前より造士館前
の溜水中に於て交尾を始め申候未だ卵粒は發見致さず候
へども近きに産卵する者と存じ申候然らば三四月頃は如
何ある可きか當地にては年に二回産卵するかしら、

夜分は未だ蚊帳を除き兼ね候、

ジャコウ鼠は當地にも在るにや夜分聲を發す當地にては
球琉鼠と云ふ猫も其臭氣に恐れてや近づかさざりし、

(371) ●藤井、谷津の兩理學士

本會々員理學士藤井健次郎君は文部省留學生として獨逸
へ同理學士直谷津秀君は米國へ不日渡航せらるるを以て

同學の士相集まり去る六日夕上野精養軒に於て盛大なる
送別の宴を張り其行を壯にせられたり谷津君の出發は今
月十九日なるべく藤井君の出發は來月なるべし藤井君は
ボン大學のストラスブルガー教授のもとに研究せらるべ
く谷津君はコロンビヤ大學に趣かれウイルソン教授のも
とに細胞學を究わめらるべしと云ふ吾人は鶴首して兩君
が成業歸朝の日を待たん而して又兩君の健康を祈りて止
まざるべし

●大渡忠太郎君の赴任

本會々員たる同君は今回飯塚君の後任として第六高等學
校へ赴任せられたり

●正誤及び御斷り

浮流動物雜記中 *Miralia* は多毛類に屬すへきを蘇蟲中
に入れたるを正誤す次に先日丘氏よりの御話しに海に
Stalobius を生ずるものあるへきはすなはと能く考
へ是れは之を生ずる器官さへ待つものなし故に *Stalobi*